

感性情報学

- 授業の目標
- 具体項目
- 授業計画
- 成績評価の方法
- 参考資料

授業の目標

- 感性情報の概念と基礎を理解する。
- 実例を通じて、感性情報処理システムを構築あるいは評価していく場合に有用でかつ基礎的な理論の初歩を学習する。
- 実際に応用することに目指す。

【目標の具体的な項目】

- 感性情報の基礎概念を理解する。
- 感性システム構築の企画が提案できる。
- 統計的手法を用いて、感性表現を解析することができる。

【授業計画】

- 第1回: 感性情報とは
- 第2回: 感性評価データの収集
- 第3～4回: カラーデザインと感性
- 第5～7回: 感性表現間の関係。
 - 第7回: 課題をやる時間。
- 第8～10回: 感性表現とデザインの関係。
 - 第10回: 課題をやる時間。
- 第11～12回: 連想記憶による関係の同定
- 第13回から: 感性システムの紹介

成績評価の方法

- (1)目標1と2については、課題1と2で評価し、60%以上の成績で合格とする。
- (2)目標3については、課題3と4で評価し、少なくとも一つの成績が60%以上で合格とする。
- (1)と(2)を同時に満足することで総合評価は合格とする。

参考資料

- 中森 義輝、感性データ解析、森北出版、2000 (ISBN4-627-91691-4)
- 井口 征士、感性情報処理、オーム社、1994 (ISBN4-274-07774-8)
- 長町三生、商品開発と感性、KAIBUNDO、2005 (ISBN4-303-72391-6)
- 講義資料：<http://p-www.iwate-pu.ac.jp/~dai/>